

令和２年度 第１回「四国におけるコンクリート教育に関する研究委員会」 議事録

J C I 四 国 支 部

四国におけるコンクリート教育に関する研究委員会

1. 日 時 令和２年 12 月 12 日(土) 15:15～16:35
2. 場 所 リモート会議
3. 出席者 幹事長：尾寄秀典
委 員：上岡義広，山内良馬，林和彦，堀井克章，近藤拓也 計 6 名
4. 配付資料
 - ①令和２年度 第１回「四国におけるコンクリート教育に関する研究委員会」出欠一覧
 - ②令和２年度「四国におけるコンクリート教育に関する研究委員会」委員一覧
 - ③コンクリート教育モデル活動校一覧表(2006 年～)
 - ④コンクリート関連企業への就職者数調査（平成 27 年～令和元年）
5. 議事
 - ・以下について審議し，次の結果を得た。
 - (1) 近況報告
 - ・年度に一度の開催であるため，出席された委員全員から恒例の近況報告が行われた。
 - ・今年度は，新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため，本研究委員会がリモートで行われることになり，各委員からも感染症拡大防止対策により取り巻く環境が大きく変化したことが多く報告された。
 - (2) コンクリート教育モデル活動校による活動の中間報告
 - ・今年度のモデル活動校は香川県立多度津高等学校であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため，年度始めの 2 ヶ月間が臨時休業となり，十分なコンクリート教育が見込めないため，研究委員会で審議し，今年度は支部からの支援を辞退することが承認された。それによって，今年度の中間報告は中止となった。
 - (3) 令和 3 年度コンクリート教育モデル活動校の審議・決定
 - ・(2) によって，令和 3 年度のモデル活動校についても審議し，令和 2 年度のモデル活動校である香川県立多度津高等学校がスライドする形で令和 3 年度のモデル活動校とすることが承認された。令和 4 年度からのモデル活動校も，1 年ずつ 4 県のローテーションをスライドさせることが承認された。令和 4 年度は，ローテーションにより徳島県内の学校をモデル活動校として推薦していただくことを徳島県の委員に依頼した。
 - ・支援額については，さらに活動の充実を図る目的で，15 万円を支部に要望することが承認された。
 - (4) 令和 3 年度 第 14 回コンクリート甲子園への支援について審議
 - ・令和 2 年度のコンクリート甲子園も新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の観

点から、今年度は中止することが決定し、審議の結果、支部からの支援を辞退することが承認された。

- ・令和 3 年度のコンクリート甲子園は、現在のところ開催する方向で模索していることから、支部に支援を要望することとし、承認された。また支援額は、大会の運営面での充実を図る目的で 10 万円を要望することが承認された。

(5) 「コンクリート関連企業への就職者数調査」結果報告

- ・本研究委員会の活動成果を検証する目的で、今年度も本調査を行った。今年度は令和元年度卒業者を加えて 5 ヶ年分のデータとなり、結果は合計 8 名と例年並みであった。例年どおりコンクリート関連企業に就職している学校もあれば、新しくコンクリート関連企業に就職している学校もあった。各委員からも報告をいただいた。

- ・聞き取りの中で企業の一部署にコンクリートを扱うポジションがある場合もあり、実際には数字より多くコンクリート関連企業に就職しているのではないかという意見もいただき、次年度はより深く聞き取りをお願いすることにした。高専では求人が好調で、学生も大手企業に興味を持ち就職していく傾向にある。一方でコンクリート関係の研究室を持つ高専では、専攻科の学生がコンクリートに興味を持ち、コンクリート関連企業に就職しているという意見もいただいた。また、技術士会やコンサルタント協会は出前授業を行っている効果が出ているのか、コンサルタント会社への就職が増えているという意見をいただき、学生・生徒への積極的なアプローチも大切であるということも見えてきた。今後、各県の生コンクリート工業組合や生コン企業等の協力を得て、学生・生徒への露出度を高めていく取り組みが重要ではないかという意見もいただいた。さらに、PC建設業協会等に働きかけて、教員でない人からの話を聞くことは学生・生徒にとって刺激になるのではないかという意見もいただいた。報告をいただく中で、各校ともインターンシップ、キャリア教育、現場見学会等、幅広く現場と接触する取り組みを行っているようであった。これをコンクリート分野に重点を置くことで学生・生徒にも興味を持ってもらえ、今後の就職者数に結びつくかもしれない。

(6) コンクリート教育に関する意見交換

- ・コロナ禍で、今年度の求人数への影響が出ているかという質問に対し、土木分野は好調であり、むしろ増加している学校もあった。ただ建築分野は、今年度は影響ないが、今後影響が出るかもしれないという心配も聞かれた。

(7) 次回委員会開催日の検討

- ・次回の委員会は、令和 3 年 12 月 4 日（土）香川県生コンクリート工業組合で開催することを仮決定した。しかし、次年度の状況次第では、今年度同様にリモート会議の可能性もあることを申し添えた。

(記録 尾寄秀典)